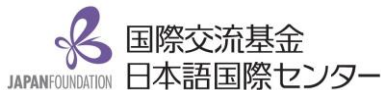


文法の教え方

Unit 2 実践 Part 3 アウトプット練習（タスク練習）



はじめに

このパートでは、アウトプット練習の中でも「タスク練習」を取り上げ、まずタスク練習とは何か復習し、タスク練習の特徴と具体例、そしてその効果について確認します。取り上げる練習の具体例は以下の3つです。

A. 書く練習 B. インタビュー C. ロールプレイ

1. アウトプット練習

アウトプット練習とは学習者が学習した文法項目を使って、話したり書いたりする練習のことをいいます。アウトプット練習の中にドリル練習とタスク練習がありますが、このパートでは実際の場面に近い状況で、相手との自然なコミュニケーション活動を通して、与えられた課題や目的を達成する練習であるタスク練習について確認します。

2. タスク練習の特徴と例

タスク練習には、次のような5つの特徴があります。

- ①意味・内容の伝達^{てんたつ}が中心
- ②自然なコミュニケーションの中で、何らかの目的を達成する
- ③自分と相手の間に情報^{じょうほう}の差がある
- ④伝えることを自分で決めている
- ⑤相手の反応^{はんのう}を見ながらコミュニケーションする

ここでは3つのタスク練習を例に、上で挙げ^あげた5つの特徴がどのように含まれているのか考え^{ふく}ます。

<<練習 A: お礼のメッセージを書く>>

この練習は授受表現^{じゅじゅ}「～てくれる」をインプットした後に行う練習です。

- ①まず学習者を3～4人のグループにし、各自に数枚のカードを渡します。
- ②そしてグループのメンバーそれぞれに、下の例のような「～てくれる」を使ったお礼のメッセージを書くことを説明します。

テアさん

いつも漢字を教えてくれて、ありがとう！
たくさん勉強できました。
これからも教えてね。

チェより

- ③最後に、カードを相手に渡します。宿題として、日本語のわかる友達にメッセージを書いてもいいでしょう。

【タスク 1】

上の練習に含まれているタスク練習の特徴に○をつけてください。また、どうしてその特徴があると考えたのか、理由も考えてください。

- () ①意味・内容の伝達が中心
- () ②自然なコミュニケーションの中で、何らかの目的を達成する
- () ③自分と相手の間に情報の差がある
- () ④伝えることを自分で決めていう
- () ⑤相手の反応を見ながらコミュニケーションする

アウトプット練習では、ただ学習した項目について文をたくさん作らせるだけではなく、このように相手に対して目的あるコミュニケーションをとれる^{せってい}設定にすることが大切です。

<<練習 B:お客様にインタビュー>>

この練習は、^{けいご}敬語をインプットした後に行う練習です。

①まず学習者に「どんな^{じょうきょう}状況・目的でインタビューするのか」以下のように説明します。



みなさんの教室に、日本からお客さんがきました。
お客さんと仲良くなるため、お客さんを^{かこ}囲んで皆で話します。

②学習者をグループにし、一人はお客さん役、他の人はインタビューする役の人になります。

お客さん役は、先生がなってもいいでしょう。

③インタビュー役の人は、どんな質問をするか考えます。

④準備ができたなら、インタビューをします。インタビューする人は敬語を使って聞きます。

宿題として、学校のホームページにのせるために、今回のインタビューの^{きじ}記事を書いてもらってもいいでしょう。

【タスク2】

上の練習に含まれているタスク練習の特徴の()に○をつけてください。また、どうしてその特徴があると考えたのか、理由も考えてください。

- () ①意味・内容の伝達が中心
- () ②自然なコミュニケーションの中で、何らかの目的を達成する
- () ③自分と相手の間に情報の差がある
- () ④伝えることを自分で決めていう
- () ⑤相手の反応を見ながらコミュニケーションする

アウトプット練習では、ただ教科書に書いてあることを話したり、書いたりすることではなく、このように情報差を使って、ある^{ていど}程度自由に言いたいことまたは書きたいことを表現することが大切です。その時、どんな状況や目的でアウトプットをさせるのか、きちんと学習者に知らせておくと、現実のコミュニケーションに近づけられます。

<<練習 C:パーティーの準備をする>>

この練習は、「～である／ている／ておく」をインプットした後に行うロールプレイです。ロールプレイとは、ある設定のもとで学習者が^{やくわり}ある役割になり学んだ文法項目を使って^{か だい たっせい}課題を達成する練習です。では、練習の^{て じゅん}手順を見てみましょう。

①まず学習者に、どんな状況・目的の会話か説明します。



皆さんのクラスにはルンさんという学生がいます。
今度彼の誕生日があります。Aさん・Bさんで、彼の^{たんじょう び}誕生日パーティーを^{じゅん び}準備することになりました。会場はBさんの家です。
電話で、いろいろ準備について話しあいます。

②学習者をペアにし、以下のようなロールカードA、Bを渡します。A、Bのロールカードの内容を、クラスで一緒に確認してもいいでしょう。

<A>

- ・Bさんに電話をして、パーティーの準備の状況を確認してください。
- ・Bさんがまだ準備していないことがあれば、手伝ってください。

- ・Aさんから電話がきて、準備について聞かれます。準備していることを具体的に伝えてください。
- ・まだやっていない準備を伝え、Aさんをお願いしてください。

③ペアでロールプレイをします。

それでは、この活動をふり返ってみましょう。この活動はロールプレイ活動で、お互いにある設定のもと、学んだ文法項目を使いながら自由に会話を行います。今回のロールプレイでは、クラスメートの誕生日会の準備をするための会話ですので、「意味・内容の伝達」が中心と

なっています。また決まった会話ではなく、自然なコミュニケーションの中でパーティーの準備という目的を達成するために話しているので、「自然なコミュニケーションの中で、何らかの目的を達成する」という特徴もあります。さらに、相手が何を話すかわからず、自分の言いたいことは自分で決められるため、「自分と相手の間に情報差がある」と「伝えることを自分できめていう」という特徴も備えています。最後に相手の答えによって、自分の話す内容を考えなければいけないので、「相手の反応を見ながらコミュニケーションする」という特徴もあります。

ロールプレイには、いろいろな方法があります。ただ、モデル会話の一部を変えたり、ほとんど会話を暗記して発表しているだけでは、コミュニケーションにつながる練習とはいえません。場面が設定され、会話の目的があり、学んだ文法項目から適切な表現を学習者自身が選べ、アウトプットすることで、はじめてコミュニケーションにつながるロールプレイと言えます。

【タスク 3】

《練習 C》のロールプレイについて、以下の質問に答えてください。

- 1) 学習者が上のロールプレイをした場合、どのような会話を作と思いますか。
どんな会話を作るか実際に会話を考えてみましょう。

2) 学習者が上のロールプレイをした場合、どのような問題が出てくると思いますか。

3. タスク練習の効果

今までいくつかの具体的なタスク練習を見てきましたが、タスク練習の効果は为什么呢。

一つ目は、タスク練習で学習者はそれまで身につけた言語的知識^{げんごてきちしき}を総合的に使うことが求められます。学習した項目だけではなく、今まで学習した他の文法項目を思い出し使うことで、より深く学習項目や学習した項目が定着^{ていちゃく}します。二つ目は、うまく学習した文法が使えなかったり、文が作れないなど、自分ができないことに気づき、理解^{しゅうせい}を修正したり練習したりする良い機会になります。インプットは重要ですが、インプットしたことをタスク練習によって試し、自分のできること、できないことに気づくことも重要です。最後に三つ目として、実際に学んだ文法項目や表現を使うことで、言葉を使う楽しさに気づき学習意欲^{いよく}が高まります。

ただ学んだ文型を実際に使う練習としてだけではなく、このような効果を持つ練習として、授業中のタスク練習をもう一度考えてみてはいかがでしょうか。

4. まとめ

このパートでは、タスク練習についてその特徴や具体例についてみてきました。

1. 《タスク練習とは?》 実際の場面に近い状況で、相手との自然なコミュニケーション活動を通して、与えられた課題や目的を達成する練習
2. 《タスク練習の特徴》「自分と相手との間に情報差がある」や「伝えることを自分で決めていう」など5つの特徴がある
3. 《タスク練習の効果》学習項目だけではなく今まで学んだ知識を総合的に使う機会になるため、より深く定着すること／タスク練習することで自分のできること・できないことに気づけること／言葉を使う楽しさに気づき学習意欲が高まること

タスク練習はコミュニケーションにつながる文法指導のなかでも、とても大切な部分です。ぜひその特徴と効果を確認して、自分のクラスにあった練習を考えてみてください。

このパートの参考文献

- ・ 国際交流基金(2010)『文法を教える』(国際交流基金 日本語教授法シリーズ 4) ひつじ書房
- ・ 中村律子・浅見かおり・金子広幸・宮崎妙子(2005)『人と人をつなぐ日本語クラス アクティビティ 50』アスク

■ タスクの答え

【タスク1】①(☒) ②(☐) ③(☒) ④(☒) ⑤(☐)

【タスク2】①(☒) ②(☒) ③(☒) ④(☒) ⑤(☒)

【タスク3】(答えなし)